

事例番号:280009

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

2 回経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 10 週 高血圧合併妊娠と診断、以降血圧 140-158/70-103mmHg

妊娠 12、24 週 尿蛋白(+)

妊娠 26 週- 尿蛋白(±)

妊娠 28 週- ヒトラジソン塩酸塩錠処方

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 6 日 12:45 前期破水のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 6 日

14:00- 変動一過性徐脈あり

17:45 頃- 遅発一過性徐脈出現

20:30 胎児機能不全、妊娠高血圧症、前期破水の診断で帝王切開決定

20:45- 60-80 拍/分位の胎児の徐脈が持続

21:20 手術室入室

21:34 帝王切開にて児娩出

胎児付属物所見 臍帯頸部巻絡 1 回、胎盤に少量の凝血塊付着

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 6 日

(2) 出生時体重:2720g

- (3) 臍帯動脈血ガス分析値：pH 6.834、PCO<sub>2</sub> 138.3mmHg、PO<sub>2</sub> 18.3mmHg、  
HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 22.7mmol/L、BE -15.4mmol/L
- (4) アプガースコア：生後1分1点、生後5分2点、生後10分4点
- (5) 新生児蘇生：気管挿管、人工呼吸（チューブ・バッグ）、胸骨圧迫、アドレナリン投与
- (6) 診断等

出生当日 重症新生児仮死

- (7) 頭部画像所見

生後32日 頭部MRIで両側比較に組織脱落あり、基底核視床でT1強調で高信号

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 診療区分：病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師：産科医2名、小児科医1名  
看護スタッフ：助産師3名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症であると考えられる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、常位胎盤早期剥離の可能性が高いと考える。また、胎盤機能不全および臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性も考えられる。
- (3) 常位胎盤早期剥離の関連因子として、加重型妊娠高血圧腎症が背景にあった可能性を否定できない。
- (4) 常位胎盤早期剥離が発生した時期は、遅発一過性徐脈が発生した分娩当日の17時45分頃から遷延徐脈となった20時45分の間と考えられるが、分娩直前であった可能性があると考えられる。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

- 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

## 2) 分娩経過

- (1) 破水にて入院とし、入院時に分娩監視装置を装着したことは一般的である。
- (2) 妊娠 38 週 6 日 18 時胎児心拍数陣痛図所見をレベル 3 と判読し、その後分娩監視装置を終了したことは一般的ではない。
- (3) 妊娠 38 週 6 日 20 時 11 分高度変動一過性徐脈軽度頻発と判読し、超音波断層法、内診を実施し帝王切開の方針としたことは一般的である。しかし、帝王切開の方針としてから児娩出までに 1 時間 23 分要したことには賛否両論がある。
- (4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。
- (5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

## 3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(気管挿管、人工呼吸、胸骨圧迫)は一般的である。しかし、10 倍希釈アドレナリンの静脈への投与量は一般的ではない。
- (2) 低体温療法の適応と判断し、新生児搬送を行ったことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 胎児心拍数陣痛図の判読と対応を「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2014」に沿って習熟することが望まれる。
- (2) 日本周産期・新生児医学会が推奨する「日本版救急蘇生ガイドライン 2010 に基づく新生児蘇生法テキスト」の則った適切な処置を実施することが望まれる。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

本事例において検討は行われているが、緊急帝王切開を決定してから手術開始までの時間を短縮できる診療体制の構築が望まれる。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

- (1) 学会・職能団体に対して  
なし。
- (2) 国・地方自治体に対して  
なし。